

科目分類	専門職の教育			開講学科	看護学科
科目番号	学年	担当セメスター	区分	単位数	授業時間数
11081	2	前期	必修	1	30
授業科目名 (英文)	基礎看護援助方法Ⅲ（治療・診療を受ける対象への援助） (Basic for Evidence Based Practice Ⅲ)				
担当教員名	○伊東美奈子／横山美樹				
授業の概要及び到達目標					
<p>授業概要</p> <p>本科目では、対象が治療や診療を受ける際に必要とする看護援助のうち、汎用性の高い援助技術について学習する。その際、治療・診療および看護援助の目的と対象の身体・生活に与える影響を理解するとともに、これらのリスクを最小限にとどめ安全・安楽に治療や援助を受けることができるための観察・援助の考え方と方法についても理解する。</p> <p>到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 対象が治療、診療を受ける際に必要とする看護援助のうち汎用性の高い援助技術について、援助の目的、対象の身体・生活に与える影響を説明できる。 2. 看護援助のリスクを最小限にとどめ安全・安楽に治療や援助を受けるための観察内容、アセスメント項目を説明できる。 3. 看護援助を安全・安楽に実施するための援助の考え方、具体的方法について説明し、実施できる。 					
準備学習等					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 各項目とも、「体の仕組みと働き」の内容、基礎看護援助方法Ⅰ、Ⅱの内容を復習してから授業に臨むこと。 2. 授業に際して事前学習課題等を配布するので、各自その内容を予習してから授業に臨むこと。 3. 学内演習に際しては、演習内容について十分自己学習をしてから臨むこと。 <p>以上、予習・復習で各々1時間程度が必要</p>					
成績評価の方法	筆記試験 50%、演習 50%、とし、総合的に評価する。				
テキスト	「基礎看護技術 改定第3版」(香春知永・齋藤やよい編：南江堂)				
参考図書	「演習・実習に役立つ基礎看護技術」 (三上れつ・小松万喜子編：ヌーベルヒロカワ) ※				
備考	<p>本科目の受講には、既習の基礎看護援助方法Ⅰ・Ⅱの内容を理解していることが前提となる。</p> <p>出席については20分以上の遅刻を欠席とみなす。</p> <p>オフィスアワーは、履修案内の看護学科「オフィスアワー」の項をご参照ください。</p>				

	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連については、別途明示している各学科の履修系統図をご確認ください。 授業時に行うミニテストは、解答例を授業時間内に提示しますので、復習に活用してください。
授 業 計 画	
第 1 回：オリエンテーション、感染予防の援助（清潔と不潔の概念：消毒と滅菌、無菌操作） /講義（伊東/横山） 第 2 回：呼吸を整える援助（吸入、酸素療法、吸引） /講義（伊東/横山） 第 3 回：排泄に関する援助（導尿・浣腸） /講義（伊東/横山） 第 4 回：与薬に関する援助（経口与薬等） /講義（伊東） 第 5 回：与薬に関する援助（注射） /講義（伊東） 第 6 回：検査に関する援助（採血他） /講義（伊東/横山） 第 7 回：食事に関する援助 /講義（伊東/横山） 第 8 回：感染予防の援助 /演習（伊東/横山） 第 9 回：呼吸を整える援助 /演習（伊東/横山） 第 10 回：排泄に関する援助 /演習（伊東/横山） 第 11 回：検査に関する援助 /演習（伊東/横山） 第 12 回：与薬に関する援助 /演習（伊東/横山） 第 13 回：食事に関する援助 /演習（伊東/横山） 第 14 回：自己課題の演習 /演習（伊東/横山） 第 15 回：自己課題の演習 /演習（伊東/横山）	

*授業の進捗状況により変更する場合がある。